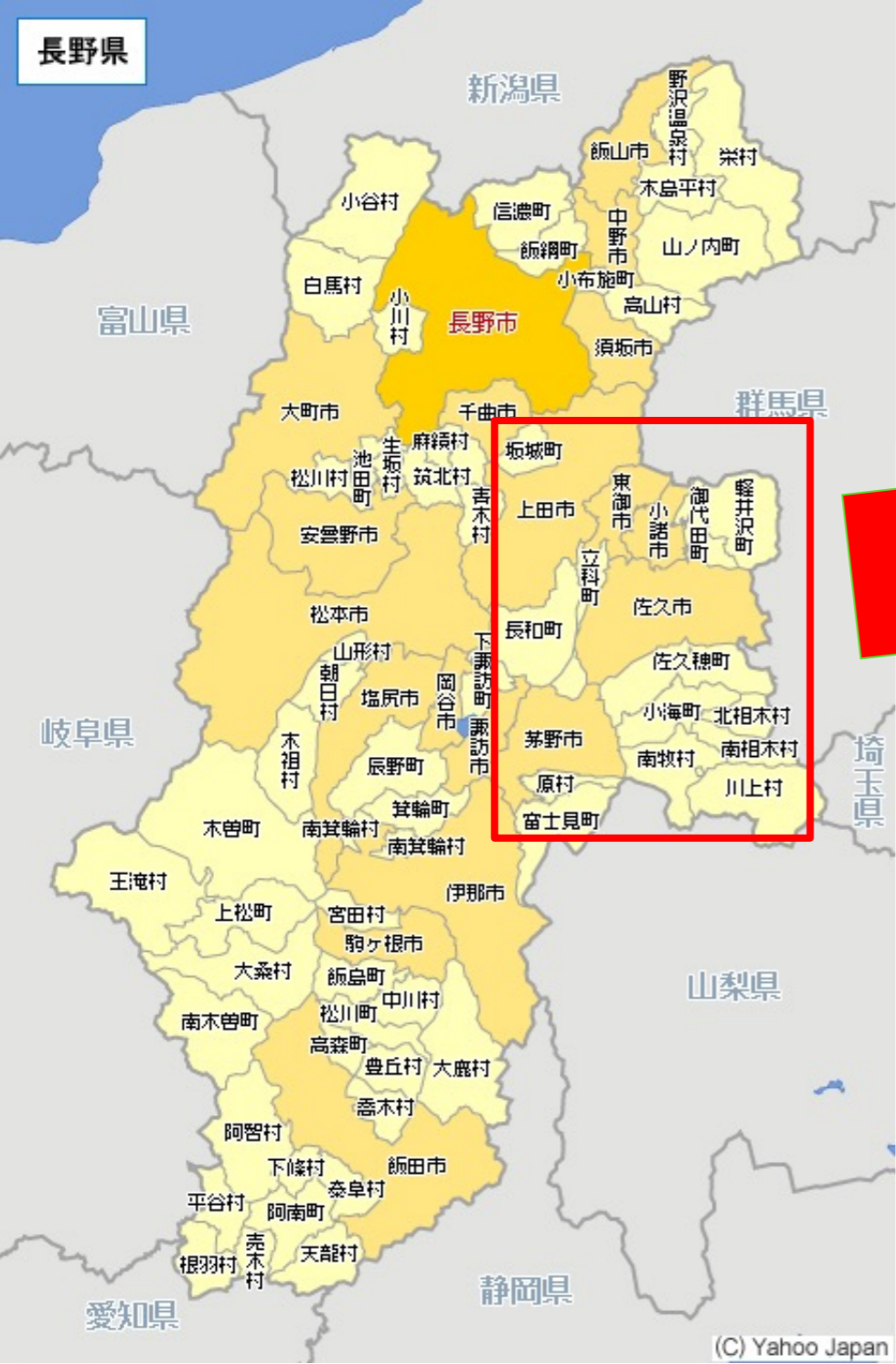


信州WWLコンソーシアム 構築支援事業3年間の歩み

長野県上田高等学校

2023.2.27 WWL成果報告会

長野県上田高等学校



沿革

- 明治11年 上田変則中学校設立
- 明治33年 独立して長野県上田中学校となる
(明治32年 長野県中学校上田支校)
- 昭和23年 学制改革により長野県上田松尾高等学校として発足
- 昭和33年 長野県上田高等学校と改称
- 平成26年 S G H (スーパーグローバルハイスクール) アソシエイト校に指定
長野県21世紀型教育モデル校指定
- 平成27年 **S G H (スーパーグローバルハイスクール) に指定**
- 平成28年 台湾国立苗栗高級中学と姉妹校提携/
東京外国語大学と高大連携協定締結
- 令和2年 **WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援
事業に係るカリキュラム開発拠点校指定**
創立120周年 (記念式典は令和5年に延期)

1 主な取組の紹介

カリキュラム開発

グローバルスタディーズ

海外研修

4つの研修

→コロナ禍でオンラインに

ALネットワーク

初年度7校→17校

高校生国際会議

令和4年6月実施

大学の先取履修

長野県立大学、信州大学

既存のプラットフォームの活用

グローバルスタディーズ

課題研究・情報スキルの育成



GS I	GS II	GS III
1年生全員	2年生全員	3年生希望者
グローバル課題やローカル課題を題材としてSDGsについて学びます。県内フィールドワークや国際理解ワークショップ等を通じて自分の研究テーマを設定し、ICT活用能力を身につけながら自ら「課題を発見する力」を養います。全職員が5～6人の生徒の指導を担当します。	SDGsに関連した自己課題の研究を進めます。英語による授業では論理的思考を用いた発表やディスカッションの手法を学びます。首都圏フィールドワークや台湾研修旅行等で様々なグローバル課題の実情を見聞したり、 <u>報告会</u> で全職員が研究の成果をポスターセッションで発信します。	2年間の課題研究の内容をさらに深めます。実際の政策提言につながるよう研究を行い、6月に行われる北陸新幹線サミットで成果を発表し、各地域から集まった高校生たちと研究を共有し、意見交換を行います。

校外での発表・イベント参加

- ・ 全国高校生フォーラム
- ・ 世界津波の日高校生サミット（新潟県）
- ・ 小布施サマースクール（HLAB OBUSE 2022）
- ・ マイプロ長野県サミット
- ・ G7外相会議に係るSDGs高校生ワークショップ
- ・ WWL新潟・高校生フォーラム
- ・ エシカル甲子園
- ・ 国際学生ゼロカーボン会議（実行委員）
- ・ 信州つばさプロジェクト
- ・ オーストラリア科学奨学生（県代表）
- ・ 上田市SDGsスタートアップシンポジウム

海外研修

台湾研修旅行（2年全員）	ヒューマン アクト イン マニラ
台湾と日本との間に共通する社会問題について、大学や医療機関・地元企業などを訪問し、台湾の実情を見聞したり、意見発表を行います。また現地高校生との交流や活気ある台北の街を散策するなど、異文化を体験します。	フィリピンでストリートチルドレンの支援を行っているNPOの活動に参加し、社会における格差の現状やフィリピン国内の社会的課題について学びます。現地の子どもたちとの交流を通じて、自分たちにできる支援の在り方について考えます。
ボストン スタディ プログラム	カンボジア井戸プロジェクト
ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学等の学術機関を訪れ、論理的構成によるプレゼンテーションについて学びます。世界の第一線で活躍する講師との意見交換や大学寮での滞在は、多様な文化と世界最高峰の「知」に触れる貴重な体験です。	社会の格差を目の当たりにした生徒たちが「自分たちで行える支援のかたち」を模索する中で立ち上げたプロジェクトです。カンボジアの上下水道インフラが脆弱な地域の人々に井戸を贈る資金を文化祭のバザー等を活用して集め、実際に現地へ赴き井戸を建設します。

海外研修

コロナで
オンラインに変更

台湾研修旅行（2年全員）



ヒューマン アクト イン マニラ



ボストン スタディ プログラム



カンボジア井戸プロジェクト



高校生国際会議

- R4年6月11日（土）
- 9:30~15:30
- 参加者 国内外から150名ほど
- 基調講演 + 分科会
- ハイブリッド開催



The poster for the International Conference at Ueda High School, Nagano, features a central graphic of a globe with colorful segments. The text is in both Japanese and English. At the top, it says '高校生国際会議' (High School International Conference) and 'International Conference'. Below that, it specifies the location 'Ueda High School, Nagano'. The theme is 'Considering Multiple Perspectives & Finding Solutions - Our Pledge to Take Action for a Sustainable Life'. The date and time are 'Saturday, June 11, 2022' and '9:30 - 15:30 (Japan Standard Time)'. The contents are listed as Keynote Speech (SDG-2019 Tokyo Declaration), Environmental Action, Presentation, and Discussion. The sponsors are Ueda City Education Office and Ueda City Education Board. Contact information for both is provided at the bottom, along with a QR code for registration.

高校生国際会議
International Conference
Ueda High School, Nagano
Theme: Considering Multiple Perspectives & Finding Solutions
-Our Pledge to Take Action for a Sustainable Life
Saturday, June 11, 2022
9:30 - 15:30 (Japan Standard Time)

Contents:
• Keynote Speech (SDG-2019 Tokyo Declaration)
• Environmental Action
• Presentation
• Discussion

Sponsors:
Ueda City Education Office (15:30-18:00)
Ueda City Education Board (15:30-18:00)
Ueda City Education Office (18:00-19:00)
Ueda City Education Board (18:00-19:00)

主催
Ueda City Education Office
Ueda City Education Board

Co-organizer: 長野県立上田高等学校
Nagano Prefectural Ueda High School
TEL: 026-224-0000
E-mail: ueda@pref.ed.jp

長野県教育委員会
Nagano Prefectural Board of Education
TEL: 026-224-7400
E-mail: kyogaku@pref.ed.jp

申込受付: 5/14(日)
申込受付: 5/17(水) 18:00
Apply Now!

申し込みフォーム: 09553303 3300
0: 18:00 申込開始

参加者の概要

- * 生徒実行委員 県内8校から約50名
- * 教員サポーター 30名 (ALネットワーク校から)
- * 県内からの参加者 約50名
- 県外からの参加者 約20名
- 国外からの参加者 約50名



高校生が作る
高校生のための
信州版高校生国際会議

令和4年6月実施
の高校生国際会議
の企画・運営をし
てみませんか。

信州WWL高校生国際会議
生徒実行委員募集

— 第1回実行委員会 11月6日(土) オンラインにて —

*申し込みフォームはこちら
<https://forms.gle/3sKyyUyMtKKtr8Ha8>
(第1次申込締切は11月4日。その後も随時受付)
詳しくは各校の担当先生または、
長野県教育委員会事務局学びの改革支援課担当者まで
(tel:026-235-7435)



内容

基調講演

- ・ 露木志奈さん
- ・ 環境活動家
- ・ 「Z世代が考える地球の今」



写真：東洋経済オンラインから

分科会

第1分科会	エシカル消費
第2分科会	人権
第3分科会	教育
第4分科会	環境
第5分科会	貧困
第6分科会	水・衛生